

交流会を開催！



大阪に避難して来られている方々から、「最近来られた方もあり、また集まってお話できる機会があればいいよね」というお声を聞きました。そこで、お茶を飲みながら、ゆっくりお話する交流会を開催いたしますので、ぜひお越しください！！

日時：平成23年12月19日（月）午前10時～12時
場所：大阪市立社会福祉センター1階（ボランティア情報センター）
対象：大阪市内に避難されている方
費用：無料（お茶・ケーキ付）

12月16日（金）までにお電話でお申込みください。
問合せ：大阪市ボランティア情報センター
電話 06-6765-4041

IMONIKAI アンケート募集 & お年玉プレゼント

IMONIKAI を毎月お読みいただきまして、誠にありがとうございます。毎月皆様の生活のお役に立てる情報と、少しでもお楽しみいただけるような記事を作成していけるよう努めております。ここでアンケートを作成いたしましたので、皆様のIMONIKAIへの率直なご感想をいただきたいと思ひます。別紙にてアンケート用紙を作成いたしましたので、同封の返信用封筒に入れてお送りください。

また、アンケートにお答えいただいた方へ、おもちゃやおしゃれな鍋など、素敵なお年玉プレゼントをお送りしたいと思います。皆様の貴重なご意見をいただけますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

締切：12月28日（水）（当日消印有効）

東北の味 芋煮は大盛況！！

11月23日（水・祝）、扇町公園で「ずーっと続けてく被災障害者支援 東北⇄関西ポジティブ生活文化交流祭」というイベントが開かれました。この催しは障害者の支援活動をしている団体「特定非営利活動法人 日常生活支援ネットワーク」が主体となり、震災で被災された障害者の支援を関西から継続していくため、また東北と関西がつながり続けていく願いを込めて開催されました。



↑やはり一番大変なのは里芋の皮むきです。



↑芋煮と一緒に好み焼きで、東北⇄関西生活文化交流定食！



↑衣料品提供の様子。当日も沢山の寄付が寄せられました。



↑当日来られなかった方にもセンターでお配りしました。



↑屋外で食べる芋煮は格別です。↑芋煮ができると長蛇の列が。

このお祭りの中で、災害時に備えた炊き出しをするというプログラムがあり、県外避難で来られている方にご指導をいただきながら、東北名物芋煮の調理をしました。芋煮ができあがるとすぐに長蛇の列ができ、お昼過ぎには終了してしまう程の賑いぶりとなりました。

また、県外避難の方の冬季の負担を減らすべく、冬物衣料の提供を市民に募集したところ、小部屋がいっぱいになるほどのご寄附をいただきました。市民の皆様の浪花節の利いたあったか〜いお心遣いは、同イベントに来場された方々へお届けすることができました。

キザニア甲子園へご招待！

「大阪そねざきロータリークラブ」がキザニア甲子園にご招待します。

キザニアは、子どもたちが憧れの仕事にチャレンジし、楽しみながら社会の仕組みを学ぶことができる「こどもが主役の街」です。

*大人のみ、こどものみでの入場はできません。2歳以下の幼児は入場できますが、お仕事体験はできません。体験できるのは3歳～15歳の子どものみです。

日時：平成24年1月9日（月・祝）
2月12日（日）・19日（日）
午後4時～9時（集合は午後3時30分）

場所：兵庫県西宮市甲子園 ららぽーと甲子園内（阪神電車「甲子園」駅より南へ徒歩8分）

12月16日（金）までに電話で申込み

申込・問合せ
大阪市ボランティア情報センター
06-6765-4041（修田・植村）

電化製品等のご提供

大阪市から下記の物品（主に新品同様の中古です）のご提供がありました。別紙に詳細を載せておりますので、ご希望の方はそちらをご覧ください。また、数量に限りがありますので、希望者多数の場合は抽選とさせていただきますのでご了承ください。

オープンレンジ	洗濯機（2種類）
掃除機	ローテーブル
コードレス掃除機	毛布
冷蔵庫	カーテン
電気ケトル	照明器具
炊飯器	ガステーブル

申込締切：12月28日（水）
大阪市ボランティア情報センター
06-6765-4041（修田・植村）

お料理教室のご案内 ～恵方巻に復興の願いをこめて～

節分でおなじみの恵方巻き（丸かぶり寿司）。関西発祥のこの料理を、本場関西の方と一緒に作りませんか？関西の味を堪能しながら、楽しいひとときを過ごしましょう！

日時：1月22日（日）10：30～14：00

場所：大阪市社会福祉研修・情報センター

料理：恵方巻き お吸い物
なにわ伝統野菜を使った一品
デザート

参加費：無料

定員：25名（先着順となります）

締切：12月28日（水）

申込：大阪市ボランティア情報センター
電話 06-6765-4041
修田（しゅうでん）、棕木（むくのき）まで

ご質問、ご連絡等は...



社会福祉法人大阪市社会福祉協議会 大阪市ボランティア情報センター
〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター内
Tel 06-6765-4041 / Fax 06-6765-5618
＜利用時間＞
月～金曜 9:30～20:30 土曜 9:30～17:00
＜休館日＞
日曜・祝日・国民の休日及び
年末年始（12月29日～1月3日）
E-mail: ocvic@osakacity-vnet.or.jp

OSAKA 光のルネサンス 2011 オープニング点灯式が行われました



12月1日（木）、大阪市役所で、例年中之島にイルミネーションの光を灯している「OSAKA 光のルネサンス」のオープニング点灯式が行われました。今年の点灯式には県外避難でいらしている子どもたちとそのご家族も参加され、イルミネーション点灯のカウントダウンをして、市役所の壁面を彩るライトに目を細めていました。

今年からは冬場の電気使用量を考慮し、電球にはLEDを使用しています。また12月14日からは中之島公園にも範囲を広げ、光のフードマーケットとして屋台も出展いたします。幻想的な街並みをお散歩してみませんか。（12月25日まで 点灯時間：17時～22時）



←ツリーに祈りを込めたクリスマスカードを飾り付け。

弁護士会からのお知らせ



監修：大阪弁護士会

大阪弁護士会では皆様のご相談をお待ちしております。
お気軽にお問い合わせください。

フリーダイヤル	0120-062-545
電話番号	06-6364-1248
受付時間	月曜～金曜 13:00～17:00

【自主的避難等についての指針】

平成23年12月6日、原子力損害賠償紛争審査会は、「中間指針追補」を発表し、政府による避難指示等に基づかずに行った避難等（以下「自主的避難等」と言います。）に関する指針を示しました。

自主的避難等対象区域

下記の福島県内の市町村のうち政府による避難指示等対象区域を除く区域が対象となります。

（県北地域）	（県中地域）	（相双地域）	（いわき地域）
福島市、二本松市、伊達市、本宮市、桑折町、国見町、川俣町、大玉村	郡山市、須賀川市、田村市、鏡石町、天栄村、石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町、三春町、小野町	相馬市、新地町	いわき市

対象者

本件事故発生時に自主的避難等対象区域内に生活の本拠としての住居があった人。避難した人も、避難せず滞在した人も含まれます。また、事故発生時に政府による避難指示等対象区域内に住居があった人についても、中間指針（8月5日発表）において精神的損害の賠償対象とされていない期間並びに子供（18歳まで）及び妊婦が自主的避難等対象区域内に避難して滞在した期間（事故発生当初の時期を除く）は、自主的避難等対象者の場合に準じて賠償の対象となります。

★注意点★

この指針は、**法的拘束力を有するものではなく、この中間指針追補で対象とされなかったものが直ちに賠償の対象とならないというものではありません。**
この指針で損害賠償が認められていない方、また、その額に不満がある方については、原発ADRや、裁判に訴える方法があります。
ご不明な点につきましては、大阪弁護士会の無料電話相談（0120-062-545）や面談による無料相談（06-6364-1248）をご利用ください。また、原発事故被災者支援関西弁護士団にもご相談ください。

損害項目

（1）自主的避難をされた方について

- ①避難によって生じた生活費の増加費用
- ②避難により、正常な生活の維持・継続が相当程度阻害されたために生じた精神的苦痛
- ③避難及び帰宅に要した移動費用

（2）避難せず滞在を続けた方について

- ①放射線被曝への恐怖や不安、これに伴う行動の自由の制限等により、正常な日常生活の維持・継続が相当程度阻害されたために生じた精神的苦痛
- ②放射線被曝への恐怖や不安、これに伴う行動の自由の制限等により生活費が増加した分があれば、その増加費用

損害額の目安

（1）自主的避難対象者について

- ①子供及び妊婦については、本件事故発生から平成23年12月末日までの損害として、一人40万円
- ②その他の人については、本件事故発生当初の時期の損害として一人8万円

（2）政府による避難指示等対象区域内に住居があった方については、

- ①中間指針において精神的損害賠償の対象とされていない期間については、上記（1）の金額
- ②子供及び妊婦が自主的避難等対象区域内に避難して滞在した期間については、本件事故発生から平成23年12月末日までの損害として一人20万円を目安としつつ、これらの方が中間指針追補の対象となる期間に応じた金額。

原発事故被災者支援関西弁護士団ご連絡先

（TEL）06-6362-9615	弁護士事務局長
（FAX）06-6362-5143	大阪共同法律事務所 弁護士 白倉典武

大阪だより でっせ～

お正月
スペシャル

大阪初詣特集

2011年も残りわずかとなりました。今年は本当に色々なできごとがあり、日本中の方が悲しいことや辛いことを乗り越えてこられたことと思います。今回は大阪という地で新しい年を迎えられる方々のために、大阪での有名な初詣スポットを特集いたしました。明るい一年になることを祈って！



大阪天満宮

大阪天満宮は京都の北野天満宮、福岡の太宰府天満宮と共に、学問の神様を祀っていることで知られています。市民からは「天満の天神さん」と呼ばれ、夏の天神祭は日本三大祭りに挙げられています。近くの天神橋筋商店街もとても賑やかです。



アクセス
JR東西線大阪天満宮駅から徒歩5分
地下鉄谷町線・堺筋線南森町駅から徒歩5分

住吉大社

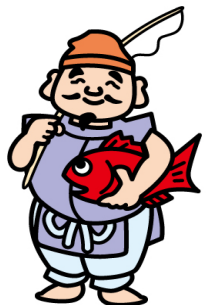
住吉大社は海の神である住吉三神を祀っている、全国に約600ある住吉神社の総本社です。地元ではすみよっさんと呼ばれ、参拝者の数がとても多いことで全国的にも有名です。太鼓橋と呼ばれる反橋は地上と天上を結ぶ虹にたとえられた雄大な建築です。



アクセス
南海本線住吉大社駅から徒歩3分

えべっさんについて

大阪では、「正月のお祭り言うたらえべっさんやろ」と言われます。えべっさんとは七福神の恵比寿さまのことで、さすがは商人の町大阪、笹に縁起物をつけて商売繁盛を祈願します。毎年1月9日が宵戎（よいえびす）、10日が十日戎（とおかえびす）、11日が残り福（のこりふく）と呼ばれ、兵庫県西宮市の西宮戎、大阪では今宮戎のお祭りが有名です。



東北だよりだっぺ！

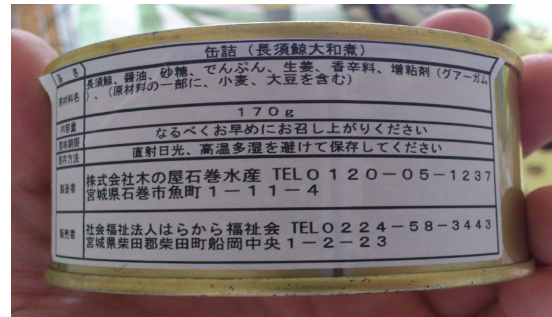
「希望の缶詰」と「高砂長寿味噌」

先日、被災地の授産施設の商品を取り扱っている「ミンナ DE カオウヤ」の店舗へ行くと、こんな商品が売っていました。宮城県石巻市の水産加工業者である木の屋石巻水産が、被災した自社工場の中から掘り起こした「希望の缶詰」と、同じく石巻市で味噌を製造している高砂長寿味噌本舗の「高砂長寿味噌」のセットです。こちらは缶詰の洗浄作業の一部を請け負っている、柴田郡柴田町のはらから福祉会という作業所が販売しています。



缶詰は泥の中に埋もれていたとは思えないほどきれいですが、よく見ると縁の部分に生々しいキズなどが入っており、確かに津波に流されたものであったことがわかります。味噌は東松島市にあった工場が、比較的高台に立地していたため最小限の被害で済みましたが、それでも味噌の製造を再開できたのが5月頃ということです。

味噌は焼きおにぎりに塗って食べようか、マヨネーズと和えて野菜スティックにして食べようか、缶詰は来年の3月に開けて震災時の出来事を胸に刻みながらいただくかな、と考えています。



方言の交差点

—東北弁と大阪弁が出会う場所—

東北弁と大阪弁の意外な共通点—「ナンボ」と「オオキニ」—

大阪に住むようになって驚いていることがあります。それは、東北と大阪が同じ方言を使うということです。たとえば、「これ、ナンボ？」のナンボ。東北でも使いますが、大阪でもよく耳にします。

ナンボは便利な言葉です。なぜなら、ナンボだけで値段を尋ねる「イクラ」と個数を尋ねる「イクツ」の意味を表すことができるからです。全国的にみると、東北と西日本でナンボが使われ、関東・中部・近畿の一部・九州西部にイクラとイクツを使う地域があります。こうした地域差が生まれた理由には、貨幣経済の歴史が関係しているのではないかと考えられています。

それにしても、全く性格の違う東北と大阪が同じ方言を使っているなんておもしろいですね。そういえば、東北の日本海と太平洋の沿岸には「ありがとう」の意味で「オオキニ」を使う地域があります。オオキニは代表的な大阪弁という印象がありますが、東北の一部で使うのは江戸時代に大阪と東北が船を通じて交易していたことが理由のようです。東北弁と大阪弁を比べてみると、二つの地域の意外な歴史が見えてきます。

（追手門学院大学講師 櫛引祐希子）